

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

PT. Indomarco Prismaatama（証券コード：－）

【据置】

外貨建長期発行体格付	BBB
格付の見通し	安定的

■格付事由

- (1) インドネシアの小売業最大手。食料品や日用品などを取り扱う「Indomaret」ブランドのミニマーケットを国内展開している。格付は、国内のミニマーケット市場における高いシェアとブランド力に基づく堅固な事業基盤、市場の拡大を背景とする業績の成長ポテンシャルなどに支えられている。また、インドネシアの大手財閥サリムグループに属し小売部門の主力企業に位置づけられており、同グループのメンバーとして恩恵を享受している。他方、店舗網拡充のための投資負担が大きい点が格付の制約となっているほか、収益性の改善も課題である。新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも生活必需品への需要は底堅く、住宅地に近接した店舗網配置のため、感染拡大の業績への影響は抑制されている。今後も国内小売市場の成長を背景に、業績の堅調な拡大が見込まれる。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (2) インドネシアの小売市場では個人商店などの伝統的小売業の存在感が強いものの、ミニマーケットの展開を通じて充実した品揃えや清潔で快適な販売空間、利便性の高いワンストップショッピングを提供することにより、伝統的小売業からの差別化に一定の成功を収めている。直営およびフランチャイズでの高水準の新規出店と、それを支えるディストリビューションセンター（DC）の新設によりジャワ島を中心に店舗網を急速に拡大しており、店舗数および売上高は国内小売業でトップシェアを確立している。今後は郊外や島嶼部への積極的な新規出店を進めていく方針である。また、地場中小企業からの商品購入の取り組みを通じて、伝統的小売業に配慮した店舗網拡充を推進している。
- (3) 19/12期の連結売上高は前年比16%増の81.8兆ルピア、最終利益は67%増の1.2兆ルピアと、近年の増収増益基調を維持した。20/12期は感染拡大に伴い店舗営業時間の短縮など営業面で制約を受ける中でも増収を概ね維持している。コストの増大により足元の利益には下押し圧力がかかっているものの、一定の黒字を引き続き確保している。中期的には、インドネシアの小売市場の成長を背景に、積極的な出店戦略の推進による店舗網のさらなる充実、プロモーション活動の展開などにより収益の堅調な拡大が見込まれる。収益性の改善は重要な中期的課題であり、スケールメリットの追求や業務効率の向上策の展開が必要とみられる。
- (4) 事業拡大のための積極的な投資負担により、連結自己資本比率は18年末の約40%から19年末約32%、20年6月末約30%へと低下した。しかし、20/12期は感染拡大の影響を踏まえて店舗網の拡大ペースを抑制しており、一定の財務構成は維持される見込みである。中期的には、郊外や島嶼部への店舗網拡大とDCの拡充により、営業キャッシュフローをやや上回る設備投資が続くとみている。今後のフリーキャッシュフローの推移や、投資拡大による財務構成への影響には引き続き一定の留意が必要である。

（担当）増田 篤・大塚 浩芳・遠藤 進一

■ 格付対象

発行体：PT. Indomarco Prismatama

【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	BBB	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2020年11月18日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：内藤 寿彦
主任格付アナリスト：増田 篤
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「小売」(2020年5月29日)として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) PT. Indomarco Prismatama
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル